

NO. **28**

発行 三好市議会  
編集 議会広報編集委員会  
三好市池田町シヤマチ1500番地2  
TEL 0883-72-7630  
FAX 0883-72-3494

**おもな内容**

代表質問・教えて議会活動	2
一般質問	3～11
3月定例会	12～13
常任委員会報告	14～15
議会のうごき	16～17
議員定数削減経過	18
市民アンケート結果	19
編集後記	20

# 議会 だより



王地小学校入学式



芝生小学校入学式

木下善之  
新和会

Q 交流拠点施設の経済効果を問う

A 事業費決定後に効果見積を行う

Q 交流拠点施設建設における経済効果、建設後の交流人口や経済効果について算定しているのか。

A 徳島県が公表している徳島県産業関連表に基づき、投入経費から喚起される経済波及効果を推計すると、建設費が仮に30億円として算定すれば経済波及効果は約43億円程度と見積もられる。また、同様に、維持管理費などの経済波及効果が考えられる。

なお、この推計額は経済動向やその他の要因により当然ながら変動し、現段階では建設費が決定していないので、算定はできていない。

Q 交流拠点施設の収支計画はできているのか。

A 収支計画については、施設規

模や運営手法、事業計画などが決定していないので、具体的な検討はできていないが、平成25年度中には、基本設計の完了が見込まれ、このことを踏まえた上で収支計画の策定に取りかかる予定である。

Q 三好市における現在の各福祉施設の様子はどうか。

A 市内の主な福祉施設の入所状況は、養護老人ホーム3施設で定員150名、入所者116名。特別養護老人ホーム5施設で定員、入所者とも301名となっている。

Q 将来における三好市の福祉施設のあり方はどうかあるべきと考えるか。

A 住民に身近な市町村の役割が重要視されており、市の福祉行政は、広域的な民間事業者などのバックアップ、事業者間の調整、市全体の福祉施策の計画的な実施、限られた財源の中で効果的、効率的な福祉施策を推進することといった役割が求められている。

Q 今後、老人福祉施設等の施設サービス充実に向けてどのような施策を実施していくのか。

A 民間との役割分担を明確にし、時代に合った福祉サービスの向上を図るため、利用制度における適切なサービスの提供のためのさまざまな支援、事業者指導、利用者の権利擁護、人材育成や新たな福祉ニーズへの対応などを調査、検討していきたい。

おしえて議会活動

議会審議の流れ

市議会には、年4回（3月、6月、9月、12月）定期的に開かれる「定例会」と必要に応じて開かれる「臨時会」とがあります。議会は市長が招集して開かれ、会議日程や議事順序などは、議会運営委員会で決定されます。市長または議員が提出する案件を議案といい、議案を最終的に決定することは、すべて本会議で行われますが、より効率的・専門的に審査するため総務企画・産業建設・文教厚生部の3常任委員会を設置し所管ごとの予算などの議案や市民から提出された請願の審査を行います。委員会での審査の経過と結果の報告を受け、本会議において質疑、討論を行い、議案の案件に対し賛成か反対の意見を示し、出席議員の過半数以上の賛成により議案が可決となります。

西内浩真

**Q** 水道管直結飲料水兼用大型貯水槽の建設は

**A** 国の認定を目指し事業計画を進める

**Q** 南海トラフ巨大地震が襲来すると、市民は避難できたとしても、時間がたつにつれ空腹や喉の渇き、生活生理現象が出てくる。

**A** そうなると飲料水を含む水が確保できていないと、その後の生活が危ぶまれる。そこで、東日本大震災時に東北地方の一部にも整備されていた水道管直結飲料水兼用大型貯水槽を三好市内に建設してはどうか。

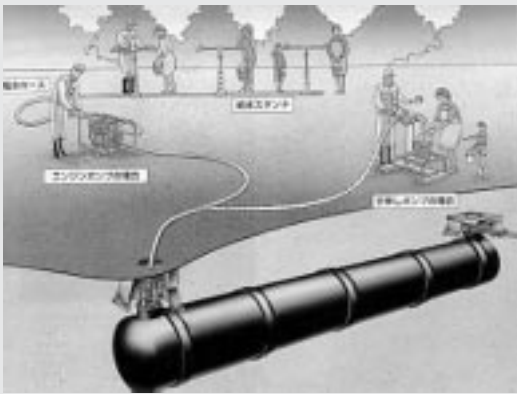
**Q** 4400人が飲料水だけでなく、生活用水に利用すれば必然的に対象人口減になるのでは。

**A** 議員指摘のとおりである。  
**提言** いざという時のことを考え、生活用水確保として風呂の残り湯等、身近なところで利用できるものも考えていなければならぬ。市民に周知するのも行政の役割である。

**A** 災害時や非常時における水の確保は飲料水はもちろん、生活する上で欠かせないものと考えている。議員提言の水道管直結飲料水兼用大型貯水槽は三好市都市再生整備計画の提案事業の一つとして位置づけ、国の認定を目指し事業計画を進める。

**Q** 計画する貯水槽の規模と、対象給水人口は。

**A** 40トン規模であり、約4400人を想定している。



大型貯水槽イメージ図

柿岡敏弘

**Q** 交流拠点施設整備計画を問う

**A** 来年度に事業・管理運営計画策定

**Q** 平成23年3月定例会に提案された委託料、企画費707万8千円のうちの550万円の決算状況。基本計画では3項目だった維持管理費が実施計画では1項目になっているのは何故か。事業計画、管理運営計画が本計画と同時に提示されないのは何故かを伺う。

**A** 委託料550万円は契約金額180万6千円にて発注した。事業計画や管理運営計画が未定な為、活動事業費、人件費は省略し1項目とした。事業計画、管理運営計画は来年度から文化振興計画策定と同時に策定する。

**Q** 実施計画は何部印刷、何処に配布するのか。また、市民向けか、中央省庁向けか。

**A** 市民向けである。文化交流課の窓口にて配布している。

**Q** 市民向けに作った計画書との事だが、維持管理費の記述が非常

に曖昧である。その部分が本事業が妥当か否か、また後年の市民負担を測る重要な項目を曖昧な記述に留めたのは何故か。

**A** 市民、関係団体の施設利用形態や意向を把握する必要があり、その意向の把握と施設内容が確定前は詳細な記述は不可。  
**提言** 23年3月以来、2年間続けた質問を総合的に判断しても整備実施計画は承認できない。問題は市民ニーズの不鮮明さと計画の曖昧さであると考え。市財政の安定と市民生活の安定は別問題。適切な時期まで計画を凍結し、市内経済の建て直しに専念するよう提言して交流拠点施設整備事業に関する質問の全てを終わる。

立川一広

Q 食生活改善事業の取り組みは

A 食文化、食習慣の普及を図る

Q よく体が一番、健康が一番と言われるが、なかなかできていないのが現状である。国民の健康維持と現代病予防を目的として健康増進法が制定された。これは増大する医療費を抑制する目的がある。しかし、医療費は抑制されていない。我が三好市においては、国保被保険者数は減少傾向にあるものの、一人当たりの国保医療給付費は年々増額しているのが現状である。健診による早期発見、早期治療の意義は大きいものがある。まず肝心なのは食生活だと思いが、いかがか。子供から大人まで、食は毎日のもので、命の源である。食を見直すことで生活習慣病の予防にもなり、食生活の改善こそが、一番に取り組まなければならない事でないか。三好市においては、これまでの食生活改善事業をどのように取り組んできたのか、また今後の施策についても問う。



調理実習

A 三好市における食生活改善事業の対象者としては、全ての年齢を対象に実施している。今年度はヘルスメイトを中心に野菜摂取量増加を重点的課題として子供から成人まで幅広く取り組んでおり、来年度も継続の予定である。今後の施策は、食に関する地域の取り組みを増し、地域における食文化、食習慣の普及に努める、地場産物の使用拡大、市民や関係機関、団体と連携、協力しながら取り組む予定である。

大黒慎一郎

Q 最終処分場の現状と今後は

A ごみ減量化により施設利用の延長

Q 汚水処理普及率11年連続徳島県が全国最下位となっている。本市における汚水処理施設の整備はどのように進めるのか、また当面の目標は何か。

A 農業集落排水事業対象地域以外の市内全域で実施している。浄化槽整備事業は、生活排水処理基本計画に基づき井川町、山城町で市町村型、他の地区では個人設置型で整備推進している。また、普及目標は平成42年度末72%と考えている。

Q 一般廃棄物最終処分場は、みよし広域連合が平成12年4月に埋め立てを開始し、計画処分量は5万立方メートル、当初埋め立て計画期間は平成26年度末となっているが今後の方針を伺う。

A 住民のごみ減量化の協力により、当初よりその期間が大幅に延長することが見込まれており、現在の搬出量から推測すると、あと

9年ほど利用可能である。今後の方針等については、みよし広域連合で協議検討していきたい。

Q 近年、中高年者で比較的簡単にできることから、各地域でグラウンドゴルフ人口が急速に増加している。健康増進のスポーツであり、市民グラウンドゴルフ大会を開催してはどうか。

A 現在、三好市では、体育協会を通じて19の加盟団体に対して、大会開催等の助成を行っているが、現在のところ他の団体も同様に市主催の大会については考えていない。



リサイクルプラザ

## 美浪盛晴

**Q** 米軍機低空飛行訓練は危険だ

**A** 県と対策を講じていく

**Q** 共産党国会議員団が昨年10月、祖谷地域の米軍低空飛行実態を調査した。米軍はこの山間を使い、模擬爆弾訓練や地上攻撃訓練をくり返している。実態調査をして危険な訓練中止を米軍に申し入れよ。防災ヘリ、ドクターヘリの運行に危険だ。

**A** 目撃情報はその都度、県に報告している。情報は多くない。昨年10月よりドクターヘリを運行しており、県と対策を講じていく。

**Q** 政府がTPP参加方針を決めたが、市長は参加方針をどう思うか。

**A** 国民合意を得ての判断を要請する。

**Q** 他市町のように所得税確定申告の際に要介護認定者のすべての者を障害者控除対象にすべきだ。

**A** 県下の状況を踏まえ、見直す方向で東みよし町と協議したい。

**Q** 中国四国農政局へ鳥獣被害対

策の要請に行ってきた。猟友会の調査によると三好市の「南西ユニット」でシカが増えている。剣山周辺広域でのシカの捕獲実績はどうか。

**A** 本年度は1000頭を超えるシカを捕獲。来年は市の捕獲班を設置する。



東祖谷小川地区ヘリポート

## 吉田和男

**Q** 観光振興と文化の相乗効果は

**A** 地域力による雇用と所得の拡大

**Q** 観光立市を唱え、観光をリーディング産業として今日まで地域の活性、発展を図ってきたが、「にし阿波観光圏」の成果と今後の道筋について問う。

又、文化振興の推進には市民の文化意識の向上が求められるが、観光諸施策を展開する中で今後どのような方針で取り組まれるのか。

**A** 四国で唯一の観光圏の認定を受け、体験型教育旅行の受け入れ拡大、外国人観光誘客、観光まちづくりの推進を図ってきた。今後名称を「にし阿波」剣山・吉野川観光圏」に改め、事業者や住民、行政が連携して観光まちづくりを着実に推進して次期観光圏の認定に向けた準備を進めていく。一方で、にし阿波の魅力を広く全国に発信し世界に通用するブランド観光地への飛躍を目指す。又、文化振興計画を策定し、文化力の向上

を図る。

**A** 今後も目的達成のため協働して、観光によるまちづくりを強化して雇用の創出を図っていく。

**Q** 文化振興の今後の方向性は

**A** 厳しい環境の中で逆転発想し、文化振興計画策定の中できちんと分析しながらスピード感を持って進めたい。



阿佐家住宅

中 耕司

**Q** 公共工事で地域経済の再生を

**A** 適正な工事費積算を配慮する

**Q** 新政権の経済政策により24年度補正及び25年度当初予算を合わせた15ヶ月予算では、昨年度比48%アップとなる。雇用の多くを公共工事に依存している本市にとって、大変喜ばしいことではあるが、ここ数年の公共工事の減少とコストダウンにより建設関連企業の経営状況は厳しい状況にある。アベノミクスによる経済政策を確実に取り込むために、市の発注する公共工事に於いて、次の事柄について改善を求める。起債事業や市単独事業の積算時における諸経費の見直し、二次製品の使用を抑へ、現場にあった工法の検討

主任技術者、現場代理人の兼務範囲の拡大

**A** 工事費積算時の諸経費は、国の補助事業においては国の基準に基づいた諸経費率を用いて積算しているが単独事業の諸経費率は、補助事業のおおよそ六割であ

る。今後本市における単独事業の諸経費率を検討する。

緊急性、施工性、経済性等を考慮し最良の工法を検討している。

徳島県県土整備部長より建設業法27条第2項に基づく専任の主任技術者及び現場代理人の兼務等の要件について通知があった。徳島県に準じ運用する。



公共工事現場

平田政廣

**Q** 公共施設の耐震化事業を問う

**A** 学校施設は平成26年度までに実施

**Q** 耐震化事業の対象施設数、事業費、実施期間を問う。

**A** 学校施設は、平成26年度までに終了予定で、施設数4施設、必要事業費は約10億5000万円である。

市営住宅は、耐震診断の必要な建物は21団地、31棟であり、平成27年度までに診断を終える計画で診断の総事業費は約4500万円である。耐震改修工事は、平成26年度より5力年の予定で計画しているが、事業費は、予測がつかない。

道路関係は、15メートル以上の橋梁82橋中27橋が修繕の必要がある。平成29年度までの概算総事業費は、約6億円を見込んでいる。15メートル以下の橋梁及び主要幹線市道の舗装路面については、調査をするが修繕に必要な事業量等は、調査検討中である。

**Q** 白川谷崩壊対策の今後の対策

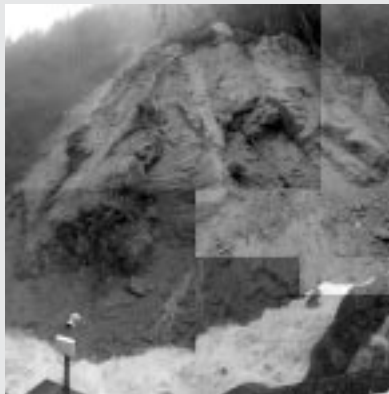
は。

**A** 川口簡易水道の水源の濁り対策として、沈殿池の改造修繕工事を早急に施工し、対応する。

**Q** 交流拠点施設の再検討を求め7500人の市民の声を無視することは許されない。

**A** 市民署名は、交流拠点施設整備計画に対する意見として認識をしている。

平成25年度は、設計者選定を経て、基本設計、実施設計を行いあわせて三好市文化振興基本計画の策定にかかる。



白川谷崩壊現場

清 西谷

Q 今後の観光振興は

A 特産品の開発・アクセス網の整備

Q 徳島県公正取引協議会の認定を受けている三好市の観光土産品は何点くらいあるか。そして今後どのように育てていくのか。また、次期「にしあわね観光圏整備計画」は、剣山・吉野川をテーマとしているが、西祖谷山村から剣山までの交通アクセスの改良の見通しは。

A 援策は。それを活用して起業した例はあるか。また、今後どのように起業家を育成していくか。

A 起業家支援についてベンチャー企業に対して現在、市独自の支援策はない。今後、相談があれば国・県の制度の活用を含め、出来る限りの支援をしたい。

Q 観光振興について認定を受けている観光土産品は県全体で194品目あり、そのうち三好市のものは15点ある。今後、特産品の開発を促すとともに、「三好」の逸品として育てたい。また、事業所にもPRをしていきたい。剣山までの国道439号についてはトンネル等改良工事が進められている。今後とも要望活動を進め、観光振興につながるよう整備を図りたい。

Q 起業家支援について三好市においてベンチャー企業に対する支



落合重要伝統的建造物群保存地区

高井マサ代

Q 家賃の補助制度の新設は

A 国・県において実施されていない

Q 現在あるものを見直して、今後の経済に役立てるといふ意味において、最も簡単な方法は太陽光発電である。公共施設の屋根に設置することについての考えは。

A イニシャルコストのかかる事業なので、国・県の支援策を踏まえて新築、改修工事などの際に検討する。

Q 65歳以上の高齢者や母子家庭に市内にあるアパートの家賃の補助制度をつくってほしい。三好市の公営住宅は、車を持っていないと活動できない場所にある。高齢者が病院や買い物に近いところに住めて、母子家庭の人が車を持たなくても仕事ができれば、ただのばらまきとは違って、社会的な費用の軽減になる。繁華街や旧市街地も少しはにぎやかになる。また、自宅介護でヘルパーが1時間もかけて山間部へ行くよりも、市内のアパートで都会の若者のよう

に、部屋をシェアして一緒に暮らしたほうが安く、楽しいのではないか。三好市の都市計画には、コンパクトな町にしたいという提言があり、市街地の空洞化をなくすためにも検討してほしい。



市営住宅

天羽 強

**Q** 文化ホール建設の賛否を問うアンケートを行え

**A** アンケートは行わない

**Q** 多くの賛否両論あり、市民アンケートを行え。

**A** 事業の推進に多くの方々が関わってきた。アンケートは行わない。

**Q** 市民意識調査を毎年やっている。平成23年度の調査では、市政に対する意見、要望が144件よせられ、文化ホールに触れている意見等が内26件。その多くが文化ホールの建設を疑問視している意見である。平成25年度調査に建設の是非を問う質問項目を入れればすぐに出来る。

**A** 原点に返ることは行政の進め方としてはやめるべきだ。

**Q** 平成25年度予算編成 要求額と査定額との差額 計上されなかった事業 増額査定された事業 予算編成過程の透明化を図れ。

**A** 約11億円減 見送り、増額予算有 誤解等を招くおそれあり 透明化は現状妥当でない。

平成23年度市民意識調査報告書（平成23年7月）より  
問33 鑑賞、創作、発表など何らかの文化活動をする際に、現在ある公民館や体育館などの施設で満足していますか。1つ選んで印をつけてください。

回答項目	回答率
1. 十分満足している	18.15%
2. まあまあ満足している	34.22%
3. あまり満足していない	19.09%
4. まったく満足していない	5.86%
5. 利用していない	18.15%
無回答	4.54%

**Q** 徳島県はホームページで公表。11億円減、どこがどう減ったか増えたかわからない。県は節約にわかる。

**A** 透明化は慎重に考える必要あり。

**Q** 税込見通等 地域主権一括法の本格施行 電気料金値上げ対策は。

**A** 人口減少は市民税減少に直結する 市民生活の充実等につながっていく 7月値上げ実施で23年度対比約1040万円増の見込み。節電対策を推進。

並岡和久

**Q** 入札の最低制限価格の事後公表は

**A** 新年度より公表の準備をしている

**Q** アナフィラキシーとは、アレルギー反応により、湿疹や蕁麻疹が、複数同時にかつ急激に出現した状態をいい、意識レベルの低下や脱力を来たような場合を、アナフィラキシーショックと呼び、直ちに対応しないと生命にかかわる重篤な状態を意味する。学校給食で食物アレルギーによるアナフィラキシーショックを防ぐ取り組みはどのようになっているのか。

**A** 学校生活管理指導表(アレルギー疾患用) が示され、平成21年の二学期より、全保護者に対し周知し、申し出を付けている。アレルギー疾患の症状によっては、献立の詳細を保護者に提供し弁当を持参するケースもある。

**Q** 指名・一般競争入札は競争性、公平性、透明性がなければならぬ。個別の工事入札でわずかな差で、失業者が出ている入札がある。そのためには、最低制限価格

の事後公表が必要である。公表する考えはあるのか。

**A** 新年度に向け、入札制度の見直しに取り組み、来月から実行できるよう準備している。



学校給食センター



宮内明治

**Q** 駅前通り市有地の利用は

**A** 市民憩いの場として整備

**Q** スワン号の解体撤去は昨年の当初予算の中で認めているのに何故しないのか。

**A** スワン号を有効利用という形で公募により、譲渡先の公募も行ったが、譲渡することができなかった。スワン号を何とかしたいとの思いで撤去が遅くなったが、3月22日までには完了する。

**Q** 平成23年12月議会で質問をした時に、計画は作成中であるとの答えだったが、まだ何もできないのはなぜか。駅前通りや銀座通りもシャッターが下りているなかで、町の中にあの広い空地があることは、寂しさを感じるのではないか。何を造るのが、いつできるのか。

**A** その後、各種団体の方とか、地元商店街の方からの要望書内容も考慮し、原案を策定し事業実施に向け昨年夏頃着工予定で進めてき

た。駅前通りに残された、貴重な空間でもある観点から行政だけでなく、徳島大学の先生にもご意見を伺い計画を全面的に見直し、市民の方々が気軽に楽しめる憩いの場として整備し、7月完成を目指している。



カメ二跡地

大浦忠司

**Q** 市民が納得できる利用計画の策定を

**A** スポーツ施設整備基本構想を策定中

**Q** 三野町の堤外地である吉野川の河川敷に利用可能な約10ヘクタールの土地について、現在どの程度の計画が進められているのか。施設の内容や予算、今後のスケジュール、既存の四国三郎の郷との関係を問う。

**A** 堤外地のゾーニングの決定については、関係団体などの意見も取り入れながら決定し、今後できる限り早い時期に予算計上できるように作業を進めたい。

**Q** 芝生城跡で木製水車による発電実証実験が行われた。その結果は水力発電として活用できるものだったのか。また、地域おこしの資源として広めていく計画はあるのか。

**A** 発電効率と汎用性は相反するため、双方を兼ね備えた現地での水力発電システムは困難であった。比較的安価な小規模施設によって生まれた小さな利益を地域で

活用できれば、議員提言のとおり、新たな地域おこしにつながると思う。また、発電事業を展開するために、参入する企業へのサポート、経済性のほかに立地条件、環境への影響、水利権などの課題もあり、これらの問題も踏まえた上で、地域の事業者、団体を優先した取り組みを進めていきたい。



三野町堤外地

古井孝司

Q 養護老人ホーム若宮荘改築は

A 全面改築の具体的検討を行う

Q 養護老人ホーム若宮荘は、老朽化が甚だしいが施設の改築方針を伺う。

A 養護老人ホーム若宮荘の耐震診断結果は、改正された建築基準法に照らして新耐震基準を満たしているが、開所して38年が経過しており、施設の設備基準が旧基準によるため居住面積が狭く、施設全体が老朽化しているため、全面改築の具体的な検討を行う。

Q 三好市は社会インフラ総点検及び老朽化対策工事をどのように進める計画か伺う。

A 橋長15メートル以上の27橋梁について、緊急性、利用効果等を考慮し、床版、塗装、落橋防止対策工事に取り組み。今回の国の緊急経済対策を活用し、橋長15メートル未満の橋梁374橋と市内の幹線道200キロメートルの路面調査を実施し老朽化対策に取り組む。



養護老人ホーム若宮荘

Q 妊婦検診の公費助成が平成25年度から恒久的制度に変わるが、市の取り組み方針を伺う。

A 妊婦健康診査は、今までおり14回の妊婦健康診査公費負担の継続的な実施及び助産師による相談事業の充実により、安心・安全な妊娠、出産ができる環境づくりを努める。

山子凱雄

Q 国の大型補正予算の取り組みは

A 合併特例債など有利な財源の活用

Q 国の緊急経済対策は公共投資の地方負担軽減に配慮し迅速かつ円滑なる実施を促している。本市の実施事業と有利な財源確保は。

A 国の補正対応は、平成25年度予算と一体的に執行。市民の暮らしの安全・安心を守ることを重点に幼・小・中学校の耐震化、市営住宅の耐震診断、橋梁・トンネルの点検・修繕、道路の舗装・改良、及び市有温泉施設に木材を活用したバイオマスボイラー設置など地域の元気臨時交付金過疎対策事業債・合併特例債など有利な財源を活用して実施する。

Q 農林業振興策及び企業の誘致や公共事業拡大による雇用の確保と疲弊した地域経済の下支えは。

A 森林経営計画に基づく施業拡大で雇用の促進と素材の販売促進を図る。農業は観光と連携したガーデン構想を計画。花卉栽培農家の所得増大及び農林、各生産部会

の支援と六次産業化を図る。市内全域の光ファイバー網整備を活かしICT関連企業の誘致を行う。政権交代による事業見直し、国・県の動向に注視し公共事業拡大に取り組む。

Q 高齢化で道路の維持管理作業を自主的に行うことが厳しい地域が増え一層の支援策を求め。

A 本年度から集落包括支援事業による自治会・各団体への交付金は134件、665万円。1メートル当りの交付金の改正は状況を勘案し検討課題とする。支援対象外の林道などは現地確認を行いシルバー人材センターへ業務委託。



市内林道

千葉清春

Q 小・中学校のいじめの実態調査は

A 生徒の問題行動等の調査を実施している

Q いじめ、校内暴力、体罰行為の調査結果を伺う。今後の対策を問う。

A 平成21年度、いじめ認知の件数は、小学校6件、中学校19件の計25件。22年度は、小学校6件、中学校13件の計19件、23年度は、小学校7件、中学校2件の計9件となっている。その後の経過は、24年度内に全て解消している。21年度の暴力行為は、小学校1件、中学校1校9件。22年度、小学校1件、中学校1校3件。23年度は発生してない。体罰と疑われるものが3件あった。対策は、早期発見・早期指導による早期解決と考

える。実態調査を定期的に実施する。児童・生徒の悩みを聞く相談日を開設する。保護者には、早寝早起き朝ご飯、読書き計算、外遊び運動、基本的生活習慣、倫理観、規範意識の育成を図り、いじめ、不登校、非行の3ゼ口運動を

展開している。体罰対策は、意識改革、体罰の絶滅を指示、校内研修の充実により、指導方法の改善、教職員組織における自浄作用を高める。

Q 予防教育プログラムの導入を

A 今後予防教育プログラムについて研究する。実践的先進校の動向を見きわめ導入については検討したい。

Q いじめ防止条例制定の考えは

A 全国的な動向や、先進的な市町村の条例の内容等精査、研究を深めたい。



議案・陳情の審議結果（起立採決をとった議案について掲載）

賛成、 反対、退 退席、欠 欠席 17番議長は採決に加わっておりません

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	18	19	20	21	22	23	24
議員名	西内浩真	古井孝司	吉田和男	多田敬	高井マサ代	近藤忠明	中耕司	土井忠行	柿岡敏弘	並岡和久	天羽清強	千葉盛春	美浪政晴	平田善之	木下忠司	大浦一弘	立川和弘	三木清	西谷征治	伊丹凱雄	山子凱雄	大黒慎一郎	宮内明治
議案第7号						欠										欠							
議案第8号						欠										欠							
議案第42号						欠										欠							
発議第4号			退			欠										欠							
発議第6号						欠										欠							

平成25年第1回臨時議会に提出された議案等の議決結果は、次のとおりです。

議案番号	件名	結果
議案第1号	建物の取得について	全会可決
発議番号	件名	結果
発議第1号	三好市議会政務活動費の交付に関する条例の制定について	全会可決
発議第2号	三好市議会会議規則の一部を改正する条例について	全会可決
発議第3号	三好市議会委員会条例の一部を改正する条例について	全会可決

平成25年3月定例会に提出された陳情・同意・議案等の議決結果は、次のとおりです。

議案番号	件名	結果
議案第2号	三好市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について	全会可決
議案第3号	三好市情報公開条例の一部を改正する条例について	全会可決
議案第4号	三好市個人情報保護条例の一部を改正する条例	全会可決
議案第5号	三好市の公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の一部を改正する条例について	全会可決
議案第6号	三好市行財政改革推進委員会設置条例の制定について	全会可決
議案第7号	三好市文化振興基本計画策定委員会設置条例の制定について	多数可決
議案第8号	三好市地域多目的施設の設置及び管理に関する条例の制定について	多数可決
議案第9号	三好市景観条例の一部を改正する条例について	全会可決
議案第10号	三好市伝統的建造物群保存地区防災計画策定委員会設置条例の制定について	全会可決
議案第11号	三好市歴史的風致維持向上計画協議会設置条例の制定について	全会可決
議案第12号	三好市社会体育施設条例の一部を改正する条例について	全会可決
議案第13号	三好市男女共同参画基本計画策定委員会設置条例の制定について	全会可決
議案第14号	三好市地域福祉計画策定委員会設置条例の制定について	全会可決
議案第15号	三好市立認定こども園条例の制定について	全会可決
議案第16号	三好保育所設置、管理及び保育の実施に関する条例の一部を改正する条例について	全会可決
議案第17号	三好市乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について	全会可決
議案第18号	三好市デイサービスセンター条例の一部を改正する条例について	全会可決
議案第19号	三好市障害者介護給付費等の支給に関する審査会委員の定数を定める条例の一部を改正する条例について	全会可決
議案第20号	三好市身体障害者デイサービスセンター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	全会可決
議案第21号	三好市難病患者等ホームヘルプサービス事業手数料徴収条例を廃止する条例	全会可決
議案第22号	三好市精神障害者地域生活援助事業（グループホーム）利用料徴収条例を廃止する条例について	全会可決
議案第23号	三好市井川森林総合利用施設基金条例の制定について	全会可決
議案第24号	三好市深淵自然公園施設条例を廃止する条例について	全会可決
議案第25号	三好市観光センター管理条例を廃止する条例について	全会可決
議案第26号	三好市営住宅管理条例の一部を改正する条例について	全会可決
議案第27号	三好市道路条例の制定について	全会可決
議案第28号	三好市準用河川条例の制定について	全会可決
議案第29号	三好市都市下水路条例の制定について	全会可決
議案第30号	三好市移動等円滑化のための必要な特定公園施設の設置の基準に関する条例の制定について	全会可決
議案第31号	三好市都市公園条例の一部を改正する条例について	全会可決

# 3 月 定 例 会

議案番号	件 名	結 果
議案第32号	市道の認定について	全会可決
議案第33号	市道の変更について	全会可決
議案第34号	市道の廃止について	全会可決
議案第35号	三好市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定について	全会可決
議案第36号	三好市簡易水道事業の設置に関する条例の一部を改正する条例について	全会可決
議案第37号	三好市簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例について	全会可決
議案第38号	建物の無償譲渡について（三好市深淵自然公園）	全会可決
議案第39号	三好市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定における取扱事務の変更について	全会可決
議案第40号	平成24年度三好市一般会計補正予算（第6号）	全会可決
議案第41号	平成24年度三好市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	全会可決
議案第42号	平成25年度三好市一般会計予算	多数可決
議案第43号	平成25年度三好市国民健康保険特別会計予算	全会可決
議案第44号	平成25年度三好市後期高齢者医療特別会計予算	全会可決
議案第45号	平成25年度三好市特別養護老人ホーム長生園特別会計予算	全会可決
議案第46号	平成25年度三好市農業集落排水事業特別会計予算	全会可決
議案第47号	平成25年度三好市浄化槽事業特別会計予算	全会可決
議案第48号	平成25年度三好市土地取得事業特別会計予算	全会可決
議案第49号	平成25年度三好市給食事業特別会計予算	全会可決
議案第50号	平成25年度三好市井内財産区特別会計予算	全会可決
議案第51号	平成25年度三好市簡易水道事業特別会計予算	全会可決
議案第52号	平成25年度水道事業会計予算	全会可決
議案第53号	平成25年度三好市国民健康保険市立三野病院特別会計予算	全会可決
議案第54号	平成24年度三好市一般会計補正予算（第7号）	全会可決
議案第55号	平成24年度三好市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）	全会可決
陳情番号	件 名	結 果
陳情第1号	スクールゾーン改修を求める陳情書	全会採択
陳情第2号	市道 尾後線及び漆川線の県道昇格について	全会採択
陳情第3号	米軍機のMV22「オスプレイ」低空飛行訓練反対に関する陳情	全会採択
陳情第4号	沼谷の里公園の整備を求める陳情書	全会採択
同意番号	件 名	結 果
同意第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	全会同意
同意第2号	三好市教育委員会委員の任命について	全会同意
発議番号	件 名	結 果
発議第4号	三好議会議員の定数を定める条例の制定について	多数可決
発議第5号	米国軍用機の低空飛行中止を求める意見書の提出について	全会可決
発議第6号	議案第55号平成24年度三好市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）に対する付帯決議について	多数可決

## 文教厚生常任 委員会報告

市長提出議案23件を審査し、提出議案は全て原案のとおり可決された。

### 議案第12号について

三好市社会体育施設条例の一部を改正する条例について

【問】

三野町の施設使用料金が非常に高くなったような気がする。市民に十分納得できるような説明を求める。

【答】

三野地区については料金平準化まで2段階の料金改定を経る激変緩和措置を行い、市の関係団体等が主催し使用の場合は、従前どおり減免対象となる。

### 議案第15号について

三好市立認定こども園条例の制定について

【問】

幼稚園と保育所では所管の省庁が違うが、そのことで問題は発生しないか。あるのであれば解決策

はどのように考えているか。

【答】

幼保両方の機能を兼ね備える認定こども園の制度を活用することによって、その地域にとっては就学前の教育を受けられる機会を広げ、子供たちの保育環境を整えることができるということなどで一定の期待をしている。

【提言】

認定こども園は三好市の児童・保護者に期待とともに不安感もある。子どもや保護者に負担がかからないように保護者、先生方の不安をしつかり聞いて対応していただきたい。

### 議案第42号について

平成25年度三好市一般会計予算

【問】

効率が悪く民間は参入しない山間僻地で住んでいる高齢者の介護ができる体制を将来的にとつていくような手法が必要と思うが見解はどうか。

【答】

民間が参入しにくい部分については、社会福祉協議会と市が連携・協議を十分しながら公平なサービスを受けられるようにしたい。

## 産業建設常任 委員会報告

市長提出議案20件、陳情3件を審査し、提出議案、陳情は全て原案のとおり可決・採択された。

### 議案第7号について

三好市井川森林総合利用施設基金条例の制定について

【提言】

地域振興基金からの振替となっているが、運用益金はほとんど見込めないと考えるので、施設の拡張、拡充には構想をもってあたって欲しい。

### 議案第24号について

三好市深淵自然公園施設条例を廃止する条例について

【問】

観光客の減少による廃止とのことだが、今後の利活用については、独自性を出して長期的な取り組みが必要では。

【答】

深淵自然公園については、登山等観光の有効な資源と考えている

が、地理的に遠いなどの条件を総合的に勘案し、メニュー作りに取り組んでいきたい。

### 議案第27号について

三好市道路条例の制定について

【問】

市道の認定にあたっては、山間部での勾配、危険個所等の認定要件があると思うが、できる限り認定してほしい。

【答】

管理困難な状況もあり、生活に直結する道路なので、現地調査を含め検討していきたい。

### 議案第42号について

平成25年度三好市一般会計予算

【問】

特産物の生産奨励には要綱によるものと条例で支出できるものに分かれているが、違いは何か。格上げできる品目はないか。

【答】

振興計画で期間の定めがあるものを要綱で補助金を支出している。生産奨励条例で定める、そば・こんにゃく芋は順調に生産量が増えており、現状の制度で続けていきたい。

【問】境界明確化事業などいろいろなメニューを活用し、境界だけでも先行することが必要では。

【答】緊急雇用が平成21年から始まり平成25年が最終となる。また、森林関係は平成24年から3年間で事業を進めている。5カ町村それぞれ最低1地区以上事業をおこなっているが、事業費採択の関係もありなかなか進んでいないのが現状である。

【問】町境で除雪できていない箇所があるが、除雪や倒木処理の基準はどうなっているか。

【答】幹線から除雪することになっているが、旧町毎に発注、作業をしているため残らないよう今後検討したい。

次に、陳情第1号「スクールゾーン改修を求める陳情書」、陳情第2号「市道尾後線及び漆川線の県道昇格について」、陳情第4号「沼谷の里公園の整備を求める陳情書」は、異議なく採択すべきものと決した。

## 総務企画常任 委員会報告

市長提出議案13件、陳情1件を審査し、提出議案・陳情は全て原案のとおり可決・採択された。

### 議案第7号について

三好市文化振興基本計画策定委員会設置条例の制定について

【問】議論の公開、市民との情報を共有することが大事と考えるが、そのために学識経験で議員が委員となる考えはないか。

【答】議員の中で議論していただくか、随時報告しながら外で議論していただくか、この場の結論とならないので、今後検討させてほしい。

### 議案第8号について

三好市地域多目的施設の設置及び管理に関する条例の制定について

【討論】使用料を安くして、市民が利用しやすいようにとの反対討論と、

十分審議されたものであり可決すべきとの賛成討論があり、採決の結果、賛成多数で可決された。

### 議案第38号について

建物の無償譲渡について

【問】解体するのに費用が発生するの土地所有者との協議の結果、無償としたと説明があったが、老朽化が進めば景観の問題もあり、市の方針を示すべきでは。

【答】隣地に個人で同様の建物を建設しており、また、譲渡する施設もまだ価値は残っていることから、地権者が活用してくれるものと考えている。

### 【提言】

今後こうした事例では譲渡を受けける側に迷惑がかかることのないように。

### 議案第42号について

平成25年度三好市一般会計予算

【問】人形浄瑠璃公演実行委員会補助金は三好市団体補助金等基本方針では、どの支援団体に属するのかが。

【答】基本方針の支援区分として7項目あり、市が積極的に事業を推進すべきと判断した事業を実施する団体で、補助金審議会において補助率、補助期間について協議している。

【問】民地で許可をとっているヘリポートを把握しているか。新規のヘリポートとの連携など県との協議が必要では。

【答】市が把握している降着適地は市が申請し、許可となった施設のみであり、民間の施設は把握できていない。民間施設の有無については早急に把握できるよう努めていきたい。

【問】公債費について平成24年度末11・9%の見込みでかなり改善されてきている。地方交付税が一本算定となる平成33年度以降持続可能な収支を目指すためには、実質公債費比率はどの程度を想定しているか。

【答】10%以内の数値で推移すると見込んでいる。

月日 曜日

市議会関係会議・行事等

- 1月4日(金) 平成25年三好市成人式；池田総合体育館
- 1月8日(火) 議会運営委員会
- 1月11日(金) 鳴門市議会副議長就任挨拶来訪
- 1月12日(土) 暴力追放三好連合会第25回大会；池田総合体育館  
PHOTO 山逢展；池田中央図書館
- 1月13日(日) 三好市消防団出初式；池田総合体育館
- 1月15日(火) 広報編集委員会
- 1月17日(木) 三好市都市計画審議会；三好市第二分庁舎
- 1月21日(月) 議会運営委員会  
会派代表者会議
- 1月22日(火) 要望活動(地方税財源関係)～23日
- 1月24日(木) 三縄小学校議場見学  
広報編集委員会
- 1月25日(金) 深層崩壊セミナー；徳島グランヴィリオホテル
- 1月28日(月) 三好市人形浄瑠璃公演第3回実行委員会；三好市中央公民館  
やまびこ会・みよし会・三緑会合同行政視察(群馬県太田市・東京都荒川区)  
～29日
- 1月31日(木) 徳島県市議会議員研修会；サンシャイン徳島アネックス



徳島県市議会議員研修会

- 2月1日(金) 第3回徳島駅伝対策本部会議：市役所第1会議室
- 2月3日(日) 東祖谷小・保育所竣工式
- 2月5日(火) 第1回臨時会・議会改革検討委員会
- 2月6日(水) 第94回全国市議会議長会評議員会(東京)  
清風クラブ・公明党・新和政友会合同行政視察(高知県大川村)～7日
- 2月7日(木) 福島県いわき市議会会派視察来訪
- 2月12日(火) 全員協議会  
徳島県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会；徳島県国保会館
- 2月13日(水) 議会運営委員会行政視察(佐賀県鳥栖市、熊本県御船町)～15日  
兵庫県福崎町議会産業建設常任委員会行政視察  
来訪
- 2月14日(木) 陳情受付
- 2月18日(月) 徳島県後期高齢者医療広域連合議会2月定例会；  
徳島県国保会館  
議会改革検討委員会
- 2月19日(火) 議会運営委員会  
高知・徳島・愛媛間道路整備促進期成同盟会  
徳島県要望；徳島県庁8階



兵庫県福崎町議会行政視察来訪



- 2月20日（水） 徳島県市町村トップセミナー；徳島グランヴィリオホテル  
徳島県市町村議会議員公務災害補償等組合議会定例会；ホテル千秋閣  
みよし広域連合行政視察（和歌山県白浜町）～21日
- 2月21日（木） 要望活動（過疎対策関係）～22日  
馬路小学校議場見学
- 2月23日（土） 「第14回四国酒まつり」オープニングセレモニー；三好市中央公民館
- 2月25日（月） みよし広域連合議会定例会
- 2月27日（水） やまびこ・みよし・日本共産党・オーロラ・三緑会合同行政視察（四国中央市・砥部町）  
三豊市正副議長就任挨拶来訪
- 2月28日（木） 四国土砂防災ネットワーク議員連盟役員会・幹事会合同会議



要望活動

- 3月1日（金） 開会・議案説明
- 3月4日（月） サテライトオフィス(株)あしたのチーム「三好ランド」開所式；旧政海旅館内
- 3月5日（火） 広報編集委員会
- 3月6日（水） 三好市学校給食運営委員会；市役所第一会議室
- 3月11日（月） 代表・一般質問
- 3月12日（火） 一般質問
- 3月13日（水） 一般質問・議案質疑・委員会付託
- 3月14日（木） 議会運営委員会・市有財産活用調査特別委員会  
三野町王地小学校ミニバスケットボールクラブ全国大会出場選手表敬訪問
- 3月15日（金） 指定管理者制度調査特別委員会
- 3月16日（土） 第9回全国ほんもの体験フォーラムin徳島
- 3月18日（月） 産業建設常任委員会
- 3月19日（火） 総務企画常任委員会  
三好市奨学生選考委員会定例会；三好市中央公民館
- 3月20日（水） 議会運営委員会
- 3月21日（木） 文教厚生常任委員会
- 3月22日（金） 文教厚生常任委員会
- 3月27日（水） 議会運営委員会・全員協議会
- 3月28日（木） 委員長報告、質疑・討論、採決、閉会



サテライトオフィス開所式

# 三好市議会議員定数22へ

3月定例会、閉会日に議員提案で議員定数を2名減にする  
 発議第4号が提案され賛成19反対1退席1で可決された

## 検討の経緯

議員定数の検討については、平成22年6月13日、議会内に議会改革検討委員会を設置した。

この委員会では地方自治法に定められた特別委員会ではなく任意の委員会であり、構成委員は正副議長、議会運営委員会委員、会派代表辞退者を除く12名となった。

第1回の協議は平成24年6月13日に行われ、平成24年12月3日まで延べ6回の協議を重ね、平成24年12月10日、議長に対して議員定数22名とする中間報告を行った。

## 検討の経緯

中間報告を受けた議長から議会運営委員会に対して諮問書が提出され、改革の第二段階に入った。諮問項目は次のとおり

- 議員定数の検討
- 政務活動費の検討
- その他検討結果に基づく改革に資する事項

## 議会運営委員会会議開催記録

	開催日時	
1	平成24年 12月12日	議長から議会運営委員会へ諮問 議員定数の検討 政務活動費の検討 その他検討結果に基づく改革に資する事項
2	12月26日	第1回 検討委員会からの報告 今後の検討内容について
3	平成25年 1月8日	第2回 政務活動費の交付に関する条例 制定について 市民アンケート、議会の機能強化について
4	1月21日	第3回 政務活動費条例案確認 市民アンケート項目決定、会派 代表者会で報告（内容説明） ・市民アンケート 1月23日発送 2月8日まで回答分で 集計 ・政務活動費 2月5日第1回臨時会で議員発議、議 決 施行日25年3月1日
5	2月19日	第4回 議会に対する意見・要望（市民ア ンケート結果） 検討委員会の経過確認
6	3月20日	第5回 議員定数、議会機能について意 見聴取 ・定数は次回までに市民アンケート結果を 含め、会派意見を取りまとめ ・定数減のメリット、デメリットを協議、 提案者の詳細資料提出等チェック機能 低下にならない取り組みの意見（要望） が出た
7	3月27日	第6回 会派意見、答申案とりまとめ ・全員協議会資料、提案理由の検討

議員定数については、定数削減による議会機能の影響を検討の基  
 本に捉え、検討委員会からの中間  
 報告、また、1月25日から2月8  
 日まで実施した、市民アンケート  
 の結果、三好市議会に期待する項

目として、市政に対する政策提  
 言、広報・広聴活動、監視機能、  
 市民と行政との調整機能など寄せ  
 られた多数の意見を参考にしなが  
 ら、さらに絞り込み、その定数と  
 根拠についても深く検討を重ねて  
 きた。厳しい財政事情や全国的な  
 定数削減の傾向と近隣類似市の先  
 例などを考慮した結果、三好市は  
 四国一の広大な面積を有し、飛び  
 地や住居が散在していること、ま  
 た民意の反映、新たな議員候補者

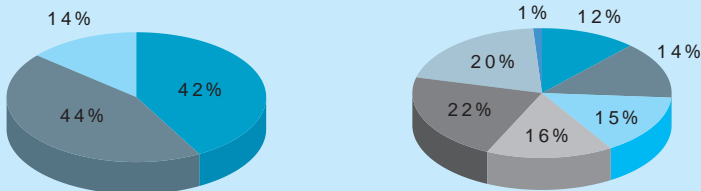
の参入を考慮し大幅な削減はすべ  
 きでないとの結論に至り、議会運  
 営委員会として議員定数は22人と  
 することを多数で決定した。  
 なお、新しい定数が適用される  
 次の一般選挙までに、必要な議会  
 改革の項目は、引き続き議会運営  
 委員会で検討していくことも確認  
 された。

# 市民アンケート結果

対象者1,000人、回答者493人

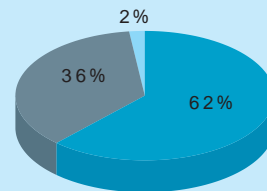
問1. あなたの性別、年齢を教えてください。

男性	209	20歳代	61	60歳代	106
女性	214	30歳代	66	70歳代	100
無回答	70	40歳代	75	無回答	6
		50歳代	79		



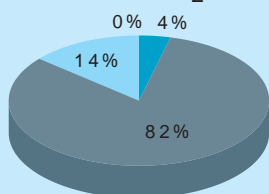
問2. あなたは市議会に関心がありますか。

関心がある	308
関心がない	177
無回答	8



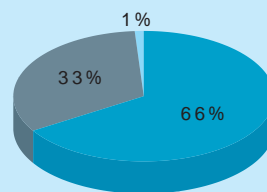
問3. あなたは市議会の会議を見たり、聞いたりしたことがありますか。

議場で傍聴したことがある	18
ケーブルテレビの放送を見たことがある	402
見たことや聞いたことがない	71
無回答	2



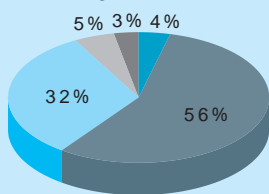
問4. あなたは「議会だより」を読んでいますか。

読んでいる	326
読んでいない	162
無回答	5



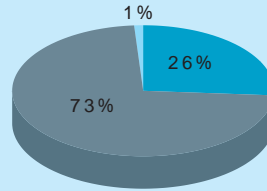
問5. あなたは、議会で活発な議論がされていると思いますか。

十分な議論がされていると思う	21
ある程度議論されていると思う	278
あまり議論されていないと思う	157
全く議論されていないと思う	24
無回答	13



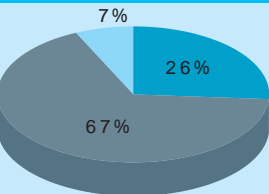
問6. あなたは、市議会議員に自分の意見や要望を伝えたことがありますか。

伝えたことがある	130
伝えたことがない	359
無回答	4



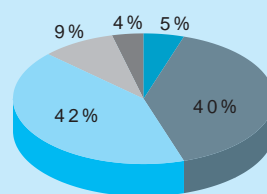
問7. あなたは、市議会に市民の声が反映されていると思いますか。

反映されている	126
反映されていない	330
無回答	37



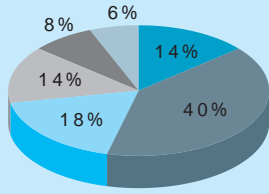
問8. あなたは、現在の市議会を評価しますか。

評価する	23
ある程度評価する	199
あまり評価しない	207
評価しない	45
無回答	19



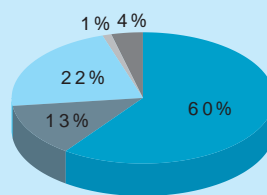
問9. あなたは、市議会や市議会議員に対して、特に何を期待しますか。(一つだけ)

市の行財政運営などに対する議会のチェック機能	68
市や市民の利益となるような政策提言	198
市民の要望や意見を聴く機会を設ける	91
市民の相談役や行政とのパイプ役	68
議会での審議結果などについて市民に報告する	38
無回答	30



問10. あなたは、議員定数について何人が適当であると思いますか。

20人	298
22人	62
24人	108
26人	6
無回答	19



佐賀県鳥栖市、熊本県御船町において「議会改革」、「議員基本条例」について、行政視察研修を行った。

鳥栖市では、議会改革検討委員会を設置し、約1年半かけ条例作成から制定までの経緯や、パブリックコメント実施の上での意見の反映が十分なされなかったなどの反省点の説明があり、また議員定数に対する質疑・意見交換を実施。

御船町では、議会基本条例及び議会活性化の取組みについて説明を受け、また通年議会の実施による課題や、議員定数に対する考え方についての意見交換や議場等の施設見学を行った。

鳥栖市、御船町とも議会改革に対する先進地として多くの成果

を得るとともに、新たな課題について対応するなど大変参考となった。  
今回の視察での成果を、今後の議会活動に活かせるよう、委員会活動の充実に努めたい。



御船町（14日）



鳥栖市（13日）



鳥栖市（13日）

## 編集後記

卒業式として胸を弾ませた入学式おめでとう。学校生活にも慣れた頃と思います。お友達をたくさんつくり、イジメのない楽しい学校生活を送ってください。

三好市の将来人口予測を見ると2005年、3万4103人から2035年には、1万7902人と20年間で約半分の人口になると予測されています。全国的に少子高齢化は問題になっているが、三好市はとくに進んでいません。今、三好市がやらなければならない事を未来ある子供たちのために、議員一人一人が真剣に考え、雇用促進・育児支援等々充実し、三好市に住んで良かった、三好市へ行って住もうと言われるまちにしなければなりません。この美しい三好市を人のいないまちにすることはならない。

広報編集委員会

委員 千葉清春

### 三好市議会広報編集委員会

- 委員長 古井 孝司
- 副委員長 美浪 盛晴
- 委員 高井マサ代
- 委員 中 耕司
- 委員 千葉 清春
- 委員 西内 浩真